

そして 楽しむこと。

ZAIHOO代表

はつんの

「フレンチブルドッグがいる日常」



はつん

フレンチブルドッグ専門サイト「ZAIHOO（ザイホー）」代表。首までどっぶりフレンチブルドッグに浸かった36歳。現在は5プヒに囲まれながらフレンチライフの高みを目指す。ワイルドというよりはマイルドなタイプ。

充実した一日が
幸せな眠りをもたらすように、
充実した一生は
幸福な死をもたらす。

レオナルド・ダ・ヴィンチ

AM 6:00

「おはようー！」犬部屋のドアを開ける僕。2秒くらい間が空いたあと全員がムクつと顔を上げ僕を見つめる。その後、5プヒがそれぞれのスタイルで早朝ストレッチをはじめ。まるで猫のように全身を天高く上げて大あくびする子もいれば、まるで猫のように前足を倒しお尻だけ上げて背骨を伸ばす子もいる。

まあどちらにしてもその姿は猫にはか見えないが、とにかく上手に淡々とストレッチをこなしていく。ウチのように5プヒもいると、その瞬間の光景は犬のスポーツジムに見えることすらある。そのうちストレッチ終わり「はつん、軽くベンチプレスやるから補助ついてよ」とか言われるんじゃないかとすら思ってしまう。僕は僕でフレンチブルドッグの筋肉質なところが好きなわけだから「キレてる！キレてる！ナイスパルク！」と声をかけてしまいうだ。

AM 6:30

ストレッチが終わったあとは朝こ

はんの時間だ。ウチでは今現在、ドクタープロのドッグフードを使っている。1歳まではラムベビー、1歳以降はラムリトル、老犬、肥満気味になってきたらラムライトにしている。皮膚が弱い子はロイヤルカナンのスキンサポートを使っている。フード以外のトッピングは、ドッグシヨーにチャレンジする子以外はあまり凝ったことはしない。フードの時点でバランスが計算されているわけだから、食いつきを良くするためのトッピングくらい。

フードの量は個々によって違うが、基本は1回にお米のカップ（200CC）1杯くらいを朝夕の計2回。あとは便の状態での調整。柔らかければ量を少し減らしたり、固ければ量を増やしたり。

5プヒもいると食べ方の違いも色々あって興味深い。あまりの勢いにステンレスの器の底が凹んで顔の形に変形するんじゃないか？と思いう子もいれば、ゆっくり上品に味わって食べる子もいる。中には、ごはんの準備中はいつも興奮して「早くごはん！早くごはん！」とケージを飛び回るくせに、器に入れてから2〜3分は口をつけず、他の子の食べている様子を確認してから食べだす子もいる。「何その、間は！」いつも僕はつつこむ。毒でも盛ってあると警戒しているかのようで笑えてくるし、毎日毎日そのパターンなのが馬鹿馬鹿しくて愛おしい。

AM 7:00

朝ごはんのあとは少し時間を置いてから日光浴の時間だ。僕はせつせと5プヒたちを庭のデッキに連れていく。犬は日光浴をすることによって紫外線を受け、体内でビタミンDを合成する。ビタミンDは小腸でカルシウムとリンの吸収を促進し、カルシウムを骨へ沈着させる。犬は人の数十倍ものカルシウムが必要だとされている。だから僕の中では日光浴の時間というよりカルシウムキヤッチの時間という感じ。朝日を浴びてゴロゴロしているプヒたちを見ながら、骨太になれ〜と念じることもしばしば。

AM 7:30

日光浴の時間と平行して、1プヒずつの散歩に出かける。散歩は近所を回るだけの10分程度のコースだ。子犬の頃はトイレで苦勞することも多いけど、成犬になってくると、この10分でもるもろ済ませてくれる子が多いからだいぶラクになる。それでも5プヒ行ったら約1時間。はい次、はい次、はい次、と。本当はまとめていけば少しはラクだけど、1プヒずつ行くことでその子の体調や様子をしっかりと確認できるからそうしている。

でも近所の人はそんな僕を見てどう思っているのだろうか？ たまに心配になる。だって散歩は朝夕2回



model by BOLT

食いしん坊で暴れん坊のボルトだよ！

『びもると3兄弟』<http://pimobolt.blog.fe2.com/> 見に来てね☆

だけど、それでも合計すると1日10周。いつ見かけてもフレンチブルドッグ。10周も。僕が小学生の頃だったら間違いなく変なおじさん呼ばわりする自信がある。ブルおじさんを1日3回見かけると不幸になる。それぐらいの噂が立つのも時間の問題かも。やっぱやだな、出来れば、幸運になる。にしていたきたい。

AM 8:30

散歩が終わったあとは、デッキのトリミング台で簡単なトリミングの時間。爪を切ったり、耳掃除したり、ブラッシングしたり。5プヒもいると正直、面倒くさいな〜と思うことも多いけど、マメに手を入れてあげることが大切。結果的に手を入れるだけの輝きを感じることができし、もし体に何かしらの異変があった場合、いち早く気付くことが出来る。なんてちよつと偉そうに言ってみただけ昔はトリミングのたびに胃が痛かった。とくに爪切り。嫌がる子はほんと大暴れ。でも途中であきらめると暴れたらやめてくれると思っちゃうから、時間をかけて粘ってなんとか。もう、終わったら汗びっしょりだったりして。下手なダイエツト法より痩せるかも。でも胃が痛いから間違いなく流行らないけど。ただそれもトリミング台を使うようになってからは一気に改善。相変わらず嫌がる子はいるけど台の上だ

と全然マシ。あとは慣れかな。もちろん注意はするけど多少は血が出ても気にせずバチバチ切る。止血剤をすりこめば血は止まるし。それより切るのをためらって爪が伸びてくるといっしょに血管も伸びるからそっちのほうが大変。長いのをちよつと切っただけで血が出るようになってやう。意外と知らない人も多いけど。

AM 9:30

5プヒはあいかわらず日光浴のまま、Z A I H O Oのお仕事開始。まずはメールのチェック。するとこんなメールがきていた。リアルにそのまま。

フレンチブルドッグの子犬を探していてサイホーさんのサイトにたどり着きました。サイホーさんの子犬情報をみたのですがペットシヨップにいる子犬と全然違って迫力ある子犬ばかりなのはなぜですか？ ペットシヨップとの違いはなんですか？ やっぱリチャンピオン犬の子供じゃないとダメですか？

僕は返信を作成する。

≫サイホーさんの子犬情報をみたのですがペットシヨップにいる子犬と全然違って迫力ある子犬ばかりなのはなぜですか？



model by FUKURU

今年の夏も暑さに負けず、毎日元気に過ごせたね。
フクルの笑顔がいっぱいの夏でした。ありがとう♪

まず、迫力の違いは犬質の違いです。簡単に説明すると、ペットシヨップが基本的に子犬を仕入れるのは犬の競り市場（オークション）からです。その大半は生後35日〜45日くらいと通常は親犬や兄弟といっしょにいないといけない大事な時期に引き離されてシヨーケースに並びます。

すべてとは言いませんが、そんなオークションに持ち込むブリーダーさんは乱繁殖を繰り返す、いわゆる繁殖屋さんが多いのが現状です。Z A I H O Oでは僕自身がドッグシヨーを通じて知り合った、フレンチブルドッグ専門のシヨーブリーダーさんの子犬をメインに紹介しています。子犬は生後60日前後までブリーダーさんの管理のもと、親兄弟といっしょにジャレ合い、噛み合いながら社会性を身につけて育てています。シヨーブリーダーさんと繁殖屋さんの違いはやはり繁殖の目的意識です。そもそも繁殖の目指すところは「スタンダード」です。スタンダードとはその犬種の「基準」、JKC（ジャパンケネルクラブ）が定めるもので、いくつもの細かい項目からなるものです。シヨーブリーダーさんというのは、そんなスタンダードを目指して計画的に繁殖をするものです。

対して繁殖屋さんというのは、人気のカラーや大きさだけを追って無計画な繁殖を繰り返すブリーダーさ

んです。スタンダードなどまったく関係なく、とにかく質より量の考えで、売れる子犬を作るために次から次へとメス犬に子犬を産ませます。

《《ペットショップとの違いはなんですか？》

ペットショップとの大きな違いは、子犬の見学の際に実際に繁殖したブリーダーさんと会っていただくこと、親犬や兄弟とも触れ合い、わからないことや不安に思うことなど、じっくりご相談いただいてからご購入を検討いただく所です。そして何より、子犬を迎えていただいた場合は、お引き渡し後もブリーダーさんとお付き合いたいだけるところが大きな違いです。実際、子犬は迎えてからのほうがわからないことが多いわけですから、その時に繁殖したブリーダーさんに相談出来るのは大きな安心です。もちろん僕も出来る限りの対応をさせていただいています。

《《やっぱりチャンピオン犬の子供じゃないとダメですか？》

そういうわけではありません。あたりまえの話ですが、犬は良質な子でなくても、痩せていても、ミックスでも、乱繁殖でも、皆同じように可愛いものです。人間の良きパートナーとして犬という存在自

体がかげがえのないすばらしいものです。それは大前提のことです。Z A I H O Oではチャンピオン犬やチャンピオン直子の子犬を中心に紹介していますが、チャンピオン犬から産まれた子犬がすべて良質な子になるわけでもありません。ただ前述したように、計画的な繁殖をしているブリーダーさんから生まれた子犬の良さというか魅力を伝えるのは、僕の義務というか役割のように考えています。

僕はZ A I H O Oを通して「フレンチブルドッグらしいフレンチブルドッグ」を多くの方に知っていただくことで、僕たちだけでなく後世の人たちにも「フレンチブルドッグの魅力」を伝えていけたらと思っています。そしてそれこそが乱繁殖者の減少につながっていくのではないかと考えています。

P M 12 : 30

お昼ご飯を食べた僕はふたたびデスクに戻りブヒたちとたわむれる。正直、5ブヒもいるとそれだけ愛情は分散してしまう。だから遊ぶときは出来るだけ意識してみんな均等にわかりやすい愛情を伝えるようにしている。淋しそうにしていたら抱きしめて、体中をこねくり回しながら、愛してるから大丈夫だよと声を出して伝える。大抵はうつつとうしそくに逃げていくけど、うれしそうにま

た戻ってくる。僕の尊敬するブリーダーさんの1人がよく口にする。血統や構成などスタンダードも大事だけど、何より大事なのは育成だよ。僕がブヒたちと遊んでいるときはいつもその言葉が頭にある。僕は仕事柄、数々の子犬も成犬も見ている。育成に力を入れている人の犬は、目の輝きも顔の表情も生き生きしている。性格も明るくて遊び好きで、フレンチブルドッグらしいフレンチブルドッグの子に成長していくのが目に見えてわかる。犬はいつも飼い主を見ているし、いつも自分が愛されているか確認したいと思っている。

P M 15 : 00

季節によって時間も多少変わるが5ブヒをデッキから犬部屋に戻し、ケージに入れる。あとは18時のタコはんまで、みんな爆睡。定期的に病院に行く。BUHIでも何度も伝えていたが、フレンチブルドッグは、けして体の強い犬ではない。病院とも上手に付き合っていかなければならない可能性も十分ありうる犬種である。

僕自身も皮膚が弱い子を長期的にケアしたり、軟骨肉腫というガンで、まだ4歳だった子を亡くしている。その他、細かいことを言い出したらキリがないが、5ブヒもいると病院とは切っても切れない関係だ。それ

でも僕はブヒが大好きだし、その苦労の何倍もの笑顔をブヒたちからもらっている。これからブヒを迎えようと考えている人も、そういった可能性を理解し覚悟することが大事だと思う。そしていざトラブルがあったとき、その大変さもひっくりかえりて楽しんでくれる強さがブヒを幸せに出来るんだと思う。もちろん、年に2回、混合ワクチンと狂犬病の注射以外は一切病院に行かない健康まる出しの子もたくさんいるけど。

P M 19 : 00

夕ごはんをあげて少し時間をおいてから、本日2回目の散歩に。流れは1回目と同じだけど、戻ったらそのまま犬部屋に入れる。あとは僕が寝るまでの時間は自由に好き勝手させている。犬部屋と僕の仕事部屋はつながっているから、仕事している僕にくつつきっぱなしの子もいれば、早々に犬部屋で寝ちゃう子もいる。まだ元気な子は走りまわって遊ば！遊ば！と他の子にちよっかいをだすけど、この時間はだいたい無視されるから結局ふてくされて寝てしまう。僕は5ブヒのうるさすぎるイビキの中で仕事を続ける。たまに自分のイビキにびっくりしてムクつと起き上がる子に「いやいや自分だから！」とつつこんだり、お腹をまくら代わりにされていた子が苦しくて乗ってる子を蹴飛ばしてるのをみ

て笑ったり、立ってるよりつらくない？と思っちゃうような体勢で爆睡している子を心配してみたり。

この瞬間をほんとに幸せに思う。イビキはうるさいけど、それだけ今日1日が充実したんだな〜って実感できるこの瞬間をほんとに幸せに思う。

あなたが寝ているときも、あなたが仕事をしているときも、あなたがご飯を食べているときも、あなたがテレビを見ているときも、あなたが友達と遊んでいるときも、あなたが笑っているときも、あなたが怒っているときも、あなたが悲しんでいるときも、あなたのブヒちゃんはあるあなたのことしか考えていません。あなたのブヒちゃんの幸せはあなたの幸せな姿なのです。出会ったその日からずっとあなたのお家にいるあなたのブヒちゃん。人それぞれ、様々なフレンチライフがあり、フレンチそれぞれ、様々な人間ライフがあるわけです。フレンチブルドッグな人生を選ばれたあなた。人生でフレンチブルドッグに出会えた幸運なあなた。まず楽しむこと。そして楽しむこと。その角度、その逆でも楽しむことです。